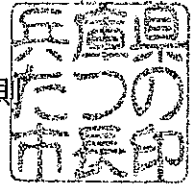




た 建 第 8 6 7 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

たつの市長 西田 正則



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のありました標記の件について、別紙により回答いたします。

1 道路財源の確保

道路特定財源等に関する基本方針(平成20年5月13日の閣議決定)に基づき、道路特定財源が平成21年度より一般財源化されるが、道路事業に対する財源の安定化を図られたい。

【参考】現在整備中の補助事業路線

龍野揖保川御津線、門前松原幹線、上沖大道線、片島土師線

2 補助率の嵩上げ

財政事情は全国的に厳しいものがあるが、集中的に事業進捗を図り、早期の整備効果を発揮させるため、財政力指数に応じた補助率の嵩上げを検討願いたい。

【参考】まちづくり交付金事業(補助率 4/10)

新宮地区 1,348百万円、本龍野駅周辺地区 3,171百万円

地方道路臨時交付金事業(補助率 5/10)

龍野揖保川御津線 4,100百万円

3 橋梁の長寿命化

橋梁の長寿命化に向けた前段措置として、対象橋梁の健全度把握が必要であるが、目視点検による腐食・亀裂箇所における重症度の判定が困難であり、点検者の能力に個人差があるため危険度判定の業務委託に対する補助制度の創設を求める。

【参考】15m以上の橋梁 79橋(内100m以上 9橋)

4 近隣市町との連携強化

現在、各々の自治体で社会資本整備計画を策定し年次的に整備しているが、広域的な道路網整備についての検討会を設置することで、地域の問題点が明確となり国・県・市町が一体となった集中的な整備が図れる。

効果として地域間交流と経済の活性化が図れるとともに、緊急救命医療や災害支援道路の形成が図れる。

○現状

平成17年10月に1市3町が合併して誕生した本市は、4地域の既存中心市街地のほか、周辺には田園集落が点在している。

市内の東西方向には、山陽自動車道、国道2号、国道179号、国道250号、主要地方道姫路上郡線等の広域幹線道路と、それを補完する道路が整備されている。

しかし、南北に貫く主要な幹線道路は一部未整備の状態となっている。

わが国の大動脈路線の一つである国道2号やその他の東西方向の幹線道路では市内で発生集中する交通と通過交通が輻輳することから、慢性的な渋滞が発生している。

○課題

合併による市民の一体感醸成に必要な地域間交流と経済活性化を図る上で、骨格となる幹線道路網が整備されておらず整備を強く求められている。

また、幅員4m未満の狭隘道路が多く存在し、災害時に的確な対応が困難であるなど、防災上や居住環境においての問題を抱えている。

②-2 地域の目指すべき将来像

兵庫県たつの市

「活力あふれる交流と連携のまちづくり」

平成17年10月に1市3町が合併して誕生した本市は、4地域の既存中心市街地ごとの魅力と個性を活かしつつ、交流拠点間の交流と連携を深めるための道路ネットワークの構築と身近な道路機能の充実を図る。

幹線軸として、山陽軸、臨海軸及び新都市姫路軸を東西に、揖龍南北幹線軸及び播磨軸を南北軸に位置づけ、全国的な交流ネットワーク網へのアクセスを目指す。

また、公共施設へのアクセス道路、地域内道路等を結ぶ道路についても計画的に整備を行い、渋滞緩和や安全性、快適性を目指した改良を図るとともに、住みよい地域づくりのための身近な道路整備を進める。

1 幹線道路網の整備

各地域間の人・モノ・情報・文化の交流を促進し、道路ネットワーク、防災ネットワークの強化を図るため、国や兵庫県と協力して主要な幹線道路の整備を優先的に取組むとともに、その他の幹線道路についても、計画的なかつ、効率的な整備を推進する。

① 揖龍南北幹線道路の整備

国道250号と中国自動車道を直結する西播磨地域の主要な南北軸の形成を推進する。

② 東西幹線道路の渋滞緩和

渋滞緩和のため都市計画道路の整備推進と、東西幹線道路計画の具体化を図るため、整備プログラムの検討を図る。

③ はりま・ふれあいロードの整備

山陽自動車道龍野西ICと国道250号を連絡し、播磨科学公園都市と播磨臨海部を最短で結ぶ南北幹線軸の整備を図る。

④ その他の幹線道路の整備

渋滞緩和や周辺市町との交流連携を図るため、市内の幹線道路網計画を再検討し、計画的かつ効率的な幹線道路の整備を図る。

2 地域内道路の整備

地域内道路に関する市民からの要望も多く、効率的な整備とともに、整備済みの道路について延命化のため適切な維持管理を図る。

また、すべての人にやさしい道路環境の整備を推進するとともに、緊急車両の円滑な通行・災害時における避難路の整備や確保に努める。

① 地域内道路の整備

地域内道路の整備を計画的かつ効率的に進める。

② 既存ストックの有効活用

整備済みの道路の適切な維持管理に努め、新たに整備する道路と併せて、効果的な道路ネットワークの形成を図る。

③ 道路環境の整備

すべての人が安心・快適に暮らせる生活環境を確保するため、ユニバーサルデザインを取り入れた整備を進める。

また、交通渋滞緩和や交通事故防止のための施設整備を図る。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

兵庫県たつの市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	揖龍南北幹線道路	西播磨地域の南北軸の形成 地域連携強化 災害時の緊急輸送路の確保 交通混雑の緩和	事業主体(施行中) 兵庫県・たつの市 六粟市・太子町
	はりま・ふれあいロード	西播磨臨海部の南北幹線道路の強化 龍野西ICへのアクセス性の向上 防災道路ネットワークの強化	事業主体(施工中) 兵庫県
・都市交通の快適性、利便性の向上	国道2号・門前西交差点の改良	交通混雑の緩和	事業主体(未着手) 国土交通省
	国道179号(竜野橋)の架け替え	地域連携強化 災害時の緊急輸送路の確保	事業主体(未着手) 兵庫県
・水害等の災害に強い国土づくり	馬路川排水機場のポンプ増設	水害防止 生命財産の保護	事業主体(未着手) 国土交通省